

令和6年砺波市教育委員会第11回定例会議事録

1 開会及び閉会に関する事項

開催日時 令和6年11月25日（月） 午後1時30分～午後2時50分

開催場所 砺波市役所 東別館会議室

2 教育長及び出席委員の氏名

白江 勉、林 克彦、齋藤 正樹、岩崎 納子、吉澤 めぐみ

3 会議に出席した者の氏名

安地 亮（事務局長）、幡谷 優（教育総務課長）、端谷 真奈美（こども課長）、金平 裕（生涯学習・スポーツ課長）、川合 直美（教育センター所長）、廣瀬 敬一（中学校長会長）、加藤 雅美（保育所・認定こども園代表）、田中 博晃（教育総務課主幹）、水木 靖（教育総務課主幹）、大浦 昭子（教育総務課庶務係主査）

4 会議に付した事項

（1）前回議事録の承認

（2）教育長報告

・事務局について（教育総務課、こども課、生涯学習・スポーツ課）

（3）議事

ア 議決事項

・議案第34号・・・砺波市議会の議決を経るべき議案について

・その他・・・教育関係機関所管事項について

（教育センター、小・中学校、保育所・認定こども園）

5 会議の要旨

教育長

令和6年砺波市教育委員会第11回定例会を開会いたします。
現在、国のほうで教職員の給与について話題になり教職員調整額を4パーセントから引き上げるというものですがそれをやっても先生方の働き方改革につながるものではありません。もちろん給与は上げたほうがよいのですが、大事なことは教職員定数です。前よりも仕事量が増えたら教員の数を増やさないと対応できません。授業時数ばかり増えている現状で、そこを分かっている人と分かていない人の話になっているのではないかと思います。今日も管内教育長会議の中で教職員採用試験の倍率が1点台にまで下がる厳しい状況との報告があり、砺波市としてできることを考えた時に、先生になった人たちに教員としてのやりがいを感じてほしいと思っており、やりがいを感じるためには授業力を高めることが一番いいと思っています。ちょうど1週間前、砺波東部小学校の研究発表会があり、大変嬉しく思ったことがありました。1年前に熊本大学教授の前田

先生に来ていただいた時に、時授業を見て「昔の授業ですね。」と言われ愕然としたのを覚えています。1年経ち見事に変わりました。校長先生を中心に学校の先生方が授業改善しようと実践した結果、前田先生は全国を回っておられますが1年でここまで変わったのは初めてですと言われました。私も、最初に6年生の授業に入りましたが、教室に入った瞬間子供たちの様子を見てうまくいっているなと感じました。子供たちが緊張していない、リラックスしている、笑顔でいる、これは授業スタイルが変わってきた、子供たちにとって見通しが持てている、昔のような何かを言われてやる授業ではなくなったことで変わりました。それが6年生、4年生、1年生の授業しかりで、授業者が6年目の先生2人と2年目で若手の先生1人、若手でも学校全体がそうであれば変わるということで、最後に授業者と助言者の先生と話をしましたが表情が非常に明るく、自分の力がついたことや、授業のやり方が分かると変わることが見て取れました。同じようなことで、庄川小学校で新市誕生20周年記念給食会で同席した6年生と話をした時も、特に緊張せず平気でどんどん話しかけてくれました。昔は、お客さんが来る日だから挨拶しなくてはという感じだったのが、今は、日頃から授業の中で言葉をたくさん発しているのだから挨拶も当たり前で大きな声でできることが外部から見るとよく分かります。ひとつ授業がこのように変わると子供たちも当然変わり、先生方もやりがいを感じます。これからも12小中学校が連携しながらやっていくことが全体が上がっていく良い方法ではないかと思った次第です。

教育長
教育委員
教育長
教育総務課長

それでは、前回議事録の承認についてお諮りします。

意義なし。

第10回定例会から今日までの行事等報告を求めます。

<総括的事項について報告・説明>

<教育総務課所管分の事業について報告・説明>

こども課長

<こども課所管分の事業について報告・説明>

生涯学習・スポーツ課長

<生涯学習・スポーツ課所管分の事業について報告・説明>

教育長

質疑はありますか。

吉澤教育委員

市の学校保健研究大会の資料によると「保育所での乳児からできる姿勢保持基礎について学ぶ」記事がありました。小学校では発達や成長に合わせて運動遊びから姿勢保持の力を育むことや、より良い生活習慣を身につけようとする態度の育成として、集会で「早寝早起きの良さを知ろう」をテーマに早寝早起きを心がけたことで保健室を利用する児童が減ったことや、授業中だけでなく給食時の姿勢を意識する強調週間を設けるなど、継続して呼びかけていく報告がありました。また中学校では、給食時の放送で睡眠時間の確保を呼びかけたり、タブレット端末からメディアの終了時刻や就寝時刻、朝の目覚め、朝食を記録して自分の生活評価や改善点を記入する取り組みの報告があり、これからも続けてほしいと思いました。

岩崎教育委員	砺波南部小学校を訪問した時に、グー、ピタ、ピンで授業を受けましようと言われ、ポスターも貼ってありました。確かに子供たちの姿勢が良く、これは学校全体での取り組みでしょうか。
教育長	小学校低学年で、姿勢保持の合図として取り組んでいます。
保育所・認定こども園長代表	園でも、すぐ寝転がったり、食事の時に姿勢が保てず椅子から落ちたりする子供が多いのでグー、ピタ、ピンに気を付けています。足がぶらぶらすると姿勢が揺らぐので、食事の時に足の裏がぴたりつくように、体格が小さい場合は牛乳パックを利用して高さを調整して工夫しています。乳幼児期からハイハイなどいろんな経験を積んで体幹を鍛え、運動発達を望めるよう取り組んでいるところです。
中学校長会長	生徒の姿勢が悪いです。タブレットの画面が小さいのでストレートネックになっている可能性もあります。生徒自身が主体的に姿勢が悪いことを確認できるような取り組みを考えていく必要があると思います。先日、学校保健委員会が開催され、新1年生の怪我が多く登校中に転んで怪我をしたり、体育で走って肉離れや骨折した事例がありました。小さい頃からの運動は大事だと思います。
岩崎教育委員	中学生の体育の授業に持久走があり、週3回の練習で具合の悪い生徒がたくさん出てしまい、結局、週2回練習し、残りの1回は先生が別の内容に変更されたという話を聞きました。
中学校長会長	負荷をかけすぎないように、昔と同じような感覚ではいけないと考えております。
齋藤教育委員	子供運動教室は何をやっておられるのですか。
生涯学習・スポーツ課長	ボールを使ったり、あまり激しいものではなく、一緒に体を動かす程度の教室であります。
保育所・認定こども園長代表	運動をする経験が家庭でも園でも少ないので、楽しく運動に取り組めるよう、主体的に関われるような内容で指導してもらっています。楽しめることと、基礎の部分でどういう経験を多く積んだらよいのかというところを教えていただき、親子で関わってもらいます。
中学校長会長	先日、テレビで健康寿命を伸ばすということで、認知症対策を題材に高齢者の運動を大事にしているという番組がありました。高齢者の方々は若い頃から運動量は多かったと思うが、今の子供たちが高齢者になったらどうなるのかと不安に感じます。現在、生涯学習・スポーツ課で行っている子供運動教室は、何十年後かに生きてくる大事なことだと思いました。
齋藤教育委員	こども家庭センターができ、半年以上経ちましたが、良かったことや困ったことなどあれば教えてください。
こども課長	元々、こども家庭センターの仕事と同じようなことをしていたため、大きく変わったことはないのですが、連携をさらに強化するために保育所やこども園の先生方と、家庭児童相談員、こども家庭センター職員との話し合いの場を設けて、日頃の悩みや疑問などをお互い意見交換する良い機会になっています。
保育所・認定こども園長代表	これまでよりも組織が広くなり、見ていく幅が乳幼児期から妊産婦

	まで、それぞれの部署の役割分担をもう一度確認し誰がキーマンとなって連携していくかを情報共有でき有効な機会でした。
齋藤教育委員	先日ケーブルテレビで庄東地区の獅子舞見学会が放送されていたが、誰が企画してどのように進められたのか聞かせていただきたい。
生涯学習・スポーツ課長	文化庁の補助金を活用し地域の文化的事業の継続、存続を研究テーマに郷土資料館が企画し、今年度庄東地区の獅子舞が採択されたものです。9月に庄東4地区の各地区代表が参加して現在取り組んでいる内容や課題となっていることをフォーラムで意見交換を行い、11月にはバスで実際に庄東4地区の獅子舞を見て回るツアー見学会を行いました。他地区との獅子舞の違いを感じたり、伝統行事を続けるために工夫できることを考えたりする機会になりました。
教育長	議事に移ります。 議案第34号については補正予算案件及び条例改正案件であるため非公開としてよろしいでしょうか。
教育委員	異議なし。
教育長	この案件に関しては非公開とし、最後に提案いたします。
教育長	次に教育関係機関からの報告を求めます。
教育センター所長	<教育センター所管事項について報告・説明>
中学校長会長	<小学校・中学校所管事項について報告・説明>
保育所・認定こども園長代表	<保育所・認定こども園所管事項について報告・説明>
教育長	ご質問、ご意見はありますか。
岩崎教育委員	教育センターだよりの学び合いの充実のところで「子供と学び方を共有したり」とあります。先日、砺波東部小学校の研究発表会で、1年生の授業の始まりに先生が子供たちと進め方を確認する様子が掛け合いのように弾んでいて、今から何をやるかも理解していて、子供たち同士で話し合うことそれを発表することが1年生では難しいのではないかと思いましたがそれができていることに感心しました。
齋藤教育委員	新型コロナ前までは地区の公民館まつりに合わせて敬老会を開催し地元の公立保育所に出てもらっていたのがコロナになってから依頼を止めており、ようやく再開できる頃に私立園に変わりましたが出演をお願いしたところ快く参加してもらい、久しぶりの園児の姿に会員から喜びの声が上がりました。私立とはじめて交流を持ちましたが大事なことだと思いました。同じ心持ちで子供たちに接して、同じ目標を持って働いておられる方々を地域としても大事にしていかなければならないと思いました。
教育長	地域密着型でよくやって下さっていると感じますし、地域の方々も本当に支えて下さっていると思います。
林教育委員	今月初めに全国の不登校児童生徒が増えている発表がありました。市の報告でも増えていると聞きましたが、例えばフリースクールなど、どのようなPRをされているのかお聞きします。
中学校長会長	保護者にこのような場所がある旨の説明をしたり、実際に校長会や学校側の代表がフリースクールの代表と話しをする機会を設けたり

	して理解を深めています。引きこもってしまうのが一番良くないので、市内にこういう所があるとか、このような施設を利用される方もおられるなど具体的に紹介しています。興味を示され、見てみたいと言われる方もあります。
林教育委員 教育センター所長	家から出られなくなることが一番困ります。 保護者が求めることで一番困るのが、勉強をさせたいと言われることで、その子供はやはり出て来ることが難しく、逆に、どこでもいいので、まずは一步踏み出すほうがいいと言う場合は出て来れるようになります。まずは、家族以外の人と顔を合わせて会話することからどうですか、などの説明を丁寧にするようにしています。段階を踏んで教室に行って勉強する流れがいいですよと伝えても勉強させる場所を教えてくださいと言われ、困ることがあります。
林教育委員 中学校長会長	親の意識はとても大事で、意識を変えることが大事だと思います。周りの大人が変わらなければならないと思います。保護者だけでなく祖父や祖母もそうだと思います。
齋藤教育委員	新聞報道を見ていると、保護者は自分の子供が不登校になることで仕事を辞めたり鬱になったりする人の割合が非常に高く、保護者の悩みは大きいことが分かりました。保護者対応が大事になってくると思います。まずは、勉強以外のことで外出させることが一番だと思います。
中学校長会長	SC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）の力を活用させていただくのが有効です。
教育長	自分の子供に障害や不登校があると心の傷や不安要素になります。その辺りは子ども家庭庁が中心になって、市全体でも進めていかなければなりません。
林教育委員	先般、富山の太鼓が文化会館で開催され、越中いさみ太鼓の代表者の話で会員は50名程度、大人と子供がそれぞれ25名程度だが、存続に際し後継者が課題とのことでした。一方、子供歌舞伎は公募で地元の子供が3人、それ以外の子供が3人、計6人と聞きました。伝統芸能は続けてもらいたいのが非常に難しいと感じました。少子化の問題とは別に、参加したい、出してみたいなど、意識や興味関心の問題もあるのではないかと考えさせられました。
教育長	意見交換に入っておりますが、何かお気づきのことがあればお聞かせください。
林教育委員	広報12月号に、伝統文化親子教室事業の募集が掲載されていましたが、こういった事業なのですか。
生涯学習・スポーツ課長	文化庁の補助事業で、親子を対象とした伝統文化の体験活動を実施する団体を支援する事業です。三味線や太鼓、日本舞踊など行う団体等が対象になり、応募があれば申請しています。
岩崎教育委員	以前、砺波散村地域研究所の学習講座で、小学4年生の親子3組を対象に「親子で散村めぐり」に参加したことがありました。1日かけての講座で、午前は地域の水についての説明と屋敷についての説明を聞き、庄川のダムと用水を見学しました。午後は散居村の屋敷を数箇所見学

したあと、散居村ミュージアムで大きな模造紙にまとめを書いて終了、自由研究に出したことを覚えています。話は変わり、先日、県立高校の説明会で、散村地域研究所と高校がタイアップした事業を展開している説明があり、散村地域研究所は多角的に、研究だけではなく地域に散居村の知識を持つ人を増やしたいということで、子供の時からと、大人にも講座を開くなど、あらためて有意義な活動をされている研究所だと確認しました。

教育長

現在、幼児教育と小学校教育、中学校教育の接続は進んでいますが高校との接続も進めるということで、先日その発表会にも参加してきました。中高連携は、中学生にとっても高校生にとっても良い機会であったと感じました。

教育長

それでは次回以降の開催日について。

教育総務課長

次回、令和6年第12回定例会を令和6年12月20日（金）午後1時30分から開催いたします。また、令和7年第1回定例会を令和7年1月24日（金）午後1時30分から開催したいと考えております。いずれも場所はこの東別館会議室で行うことといたします。

教育委員

了承。

（教育委員会の閉会后、教育委員以外は退席する。）

教育長

先ほど非公開とした議事に移ります。

議案第34号の説明を求めます。

教育総務課長

説明＜議案第34号 砺波市議会の議決を経るべき議案について＞

こども課長

・令和6年度教育費等の補正予算について

生涯学習・スポーツ課長

・令和6年度教育費等の補正予算について

・令和6年度教育費等の補正予算について

・砺波市体育施設条例の一部改正について

・指定管理者の指定について

教育長

ご質問、ご意見はありますか。

議決してよろしいでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

議案のとおり議決いたします。

教育長

令和6年砺波市教育委員会第11回定例会を閉会いたします。